

第1章 総則

1 委託業務名

2023年度（令和5年度）新型コロナワクチン等管理・移送業務委託

2 業務概要

- (1) 受注者は、本市が実施する新型コロナワクチン接種事業にかかる新型コロナワクチン及び保管・管理に必要な物品、接種に用いる医療器材等（以下「ワクチン等」という。）について、必要かつ適切な管理ができ、小分け作業・移送も行うことができる拠点（以下「ワクチン管理拠点」という。）を設置する。
- (2) 受注者は、市が作成したリストに基づき、ワクチン等の小分け作業を行い、市内のサテライト型接種医療機関及びその他市が指定する場所（以下「サテライト等」という。）に移送する。
- (3) 受注者は、国やワクチンメーカー等が作成する説明資料を読み込み、新型コロナワクチン（以下「ワクチン」という。）の種類ごとの保管温度、移送可能な温度帯、温度ごとの有効期限、冷凍機器等（超低温冷凍庫、低温冷凍庫、冷蔵庫、冷凍ストッカー、保冷バック、保冷剤をいう。以下同じ。）の取扱方法等を正しく理解し、適切に業務を遂行する。

3 業務委託期間

契約締結日から2024年（令和6年）3月31日

各業務の開始スケジュールは別添資料1参照

2023年（令和5年）9月以降は、「第5章 1業務執行体制」のとおり協議する。

第2章 ワクチン等の保管・管理

1 ワクチン管理拠点

(1) 設置

受注者は、ワクチン管理拠点を福山市内に設置し、ワクチン等の保管・小分け作業等を行う。

ワクチン等を保管及び小分けするスペースは、直射日光や紫外線が当たらないよう配慮するとともに、ワクチンを保管する超低温冷凍庫及び低温冷凍庫（以下「DF等」という。）は、「不測の停電時に備え非常用電源に接続しておく」「保冷剤（ワクチン移

送に用いる保冷剤と同等以上のものに限る)を敷き詰め、電源喪失から復旧までに3時間以内に対応できるようにしておく」等、ワクチンロスを防ぐ対策を施すこと。

(2) 設備仕様 ※2022年2月15日時点の状況(別添資料2・3)を参照

ア 広さ

必要なワクチン等が保管でき、市が渡す「移送リスト」を基に、移送開始時間までに小分け作業等の準備が完了できるスペースを確保すること。

なお、制度変更等により、小分け・移送するワクチン等の数量に著しい変更が生じた場合は、受注者と発注者が協議の上、定める。

イ 電源

専用ブレーカーを備えた専用回線を使用する等により、必要なDF等を安全に接続できるよう環境を整えること。国が示す以下のポイントを厳守すること。

- ・DF等の周囲に15cm以上の間隔を設ける。
- ・熱を発する物や機器の近くに置かない。
- ・専用ブレーカーを備えた専用回路を使用する。
- ・分岐ソケットや延長コードを使用しない。

ウ 換気設備・空調

高温多湿にならず、ワクチン等が適切に管理できる環境を整えること。

(3) 保管・管理・小分けに必要な物品

市は、受注者が業務を遂行するため、所有する別添資料3に記載の物品を貸与する。

(4) ワクチン等の移動・国からの受入

受注者は、市の指示に基づき、「超低温冷凍庫」で保管するワクチンは、ドライアイスを使用し、 $-60\sim-80^{\circ}\text{C}$ の温度帯を、「低温冷凍庫」で保管するワクチンは、保冷剤を使用し、 $-15\sim-25^{\circ}\text{C}$ の温度帯を、「冷蔵庫」で保管するワクチンは、保冷剤を使用し、 $2\sim8^{\circ}\text{C}$ の温度帯を保ったまま設置したワクチン管理拠点にまとめて移動させ、各冷凍機器に入れて適温で保管・管理する。

また、受注者は、国から、今後新たに配付されるワクチン等をワクチン管理拠点において受け入れ、対応する冷凍機器で保管する。

なお、配付されるワクチン保冷箱にドライアイスが梱包されている場合は、室内で長時間保管しないよう配慮するとともに、十分な換気等、作業員等の労働安全確保に努めること。また、ドライアイスの廃棄処理、ワクチン保冷箱の国への返却業務を併せて行うこと。

(5) ワクチン等の管理・報告

受注者は、冷凍機器等の取扱方法を正しく理解し、ワクチンを適温で保管するとともに、必要なメンテナンス・確認点検を行うこと。

ワクチン移送後など、ワクチンの保管量に変更があった都度、ワクチンの種類・ロット番号別の在庫量を市に報告すること。

医療器材の在庫量は毎月確認し、市に報告すること。

2 ワクチン等の管理要員

受注者は、本業務全体の指揮監督を行うため、当該ワクチンの保管・管理・小分け作業・移送業務に関する必要な知識を身につけた者（以下「ワクチン等管理責任者」という。）を配置する。ワクチン等管理責任者は、市との調整・連絡業務も担う。

受注者は、保管・管理・小分け・移送業務に携わる人員が、当該業務に従事する前に必ず、本業務に関する知識等が習得できるよう教育すること。また、制度改正やワクチンの取扱方法の変更等が行われた場合は、再度、適切に業務が遂行されるよう教育すること。

第3章 ワクチン等の小分け

1 小分け作業

市は、サテライト等からの移送希望数を取りまとめ、移送日前週の木曜日までに受注者に「移送リスト」を渡す。緊急で移送すべきワクチン等が発生した場合も、移送の2営業日前までに渡すこととする。

受注者は、市から渡された「移送リスト」に基づき、ワクチン管理拠点に保管しているワクチン等をサテライト等毎に必要な数量を小分けする。なお、ワクチンは DF 等から取り出した日時で使用期限が決まるため、移送日時の直前にすみやかに小分け作業を行うこと。

移送するワクチンは、適切な保冷剤で冷却された「保冷バック」に入れ、ワクチンのロット番号や必要数量等を「情報提供シート」を記載して同封する。同時に移送する医療器材等は、「段ボール箱」に必要な応じてビニール袋などで束ねる等、整理して入れる。

2 作業場所

ワクチン管理拠点

3 留意事項

移送するワクチン等の種類、ワクチンのロット番号に誤りがないよう、小分け作業する前には、あらかじめ必要総量を分別しておく。

移送するワクチン・医療器材等の種類、ロット番号、移送温度帯、保冷剤の取扱い等に誤りが生じないよう、ワクチン等管理責任者の指揮監督のもと、必ずダブルチェックによる小分け作業を徹底すること。

第4章 ワクチン等の移送

1 移送元

- ・ワクチン管理拠点
- ・緊急で移送すべきワクチン等が発生した場合は、市が指定した場所

2 移送物

- ・ワクチン，保冷剤，情報提供シートが入った保冷バック約5kg（※特例の場合，保冷ボックス約30kgを使用）
- ・接種シールやシリンジなどの医療器材が入った段ボール箱

3 移送方法

祝日等を除き原則，12才以上用のワクチンを毎週月曜日（午前10時～午後5時），12才未満用のワクチンを毎週火曜日（午前9時30分～午後0時15分）に移送する。保冷バックに入れたワクチンは，バイアルホルダーと一緒にサテライト等に渡す。あわせて，前回の移送時に渡した空のバイアルホルダーを回収する。移送作業全般にわたり，ワクチン等に破損，紛失，盗難がないよう十分注意する。移送する車両は，1台あたり，12才以上用のワクチンは10～15軒程度，12才未満用のワクチンは5～15軒程度を目安に配車すること。

4 移送後の作業

移送後は，すみやかに保冷バックから解凍した保冷剤を取り出し，保冷バックは乾燥させ，保冷剤は次回の移送までに必要数量を冷却状態にする。

5 留意事項

受注者は，「移送リスト」をもとに最も効率的と考えられる順路で移送できるよう事前に調整する。

移送車両は，帆付きトラック等ではなくワゴン車のように，施錠することで外部との遮断が可能で，盗難及び紛失を防止できる車両を使用すること。また，自転車や自動二輪車は使用しない。

移送車両の温度は，夏場の高温期でも温度が上がり過ぎないように留意する。

第5章 その他

1 業務遂行体制 ※2022年度の移送実績は，別添資料2参照

受注者は，業務の遂行にあたり，事前に国やワクチンメーカー等が作成した説明資料を理解するとともに，関係法令等を遵守し，契約期間内に確実に業務が遂行できる施設，

人員、車両を確保すること。また、制度変更等により、小分け・移送するワクチン等の数量に著しい変更が生じた場合は、受注者と発注者が協議の上、最大215か所への小分け・移送ができる体制を整える。

なお、ワクチンを移送するサテライト等数は、2023年4月は同年2月上旬と同等、2023年5～8月は2022年6～9月と同等と見込んでいる。

2023年9月以降は、今後示される国の方針を踏まえて受注者と発注者が協議の上、小分け・移送するサテライト等の数量や移送方法を定める。

受注者は、ワクチン等管理責任者の名簿を提出すること。名簿に変更があった場合には、すみやかに届け出ること。

2 事故発生時の対応等

ワクチン等の紛失や破損等の事故が発生した場合、移送するワクチンの種類や数量に誤りがあった場合には、直ちに適切な措置を取るとともに、すみやかに市へ報告すること。

移送業務の遂行中発生した車両等に関わる事故については、受注者が加入する任意保険で対応するものとする。

ワクチン等の紛失又は破損等業務上の過失が生じた場合には、損害賠償等、個々に市と協議する。

3 検査

受注者は、実施月の翌月10日までに、「完了通知書」（請求額の内訳が分かる「業務実績報告書」を添付）及び「請求書」を、市へ提出するものとする。ただし、3月分については、2024年3月31日までに提出すること。

市は、受注者から提出のあった「完了通知書」その他関係資料に基づき検査を行い、検査に合格したときは、請求を受けた日から30日以内に業務委託料を支払う。

4 再委託

受注者は、業務の全部を一括して、または主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。ただし、業務の一部であって、あらかじめ市へ必要事項を記載した書面を提出し、承諾を得た場合はこの限りではない。

5 その他

業務の実施に必要な事項及び本仕様書に定めのない事項については、市と受注者が協議の上で定めること。

各業務の開始スケジュール

別添資料 1

2023年4月・5月日程	仕様書第2章	仕様書第3章	仕様書第4章
	保管・管理	小分け作業	移送
4月3日(月)	<div style="border: 1px solid black; background-color: #4a86e8; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> 福山市旧体育館において市が保管・管理 市で小分け作業を実施 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・(12才以上用ワクチン) 移送開始 ・福山市旧体育館から移送
4月4日(火)			<ul style="list-style-type: none"> ・(12才未満用ワクチン) 移送開始 ・福山市旧体育館から移送
4月5日(水) ～30日(日)			<ul style="list-style-type: none"> ・4月中の移送は、福山市旧体育館から移送する。
～5月7日(日)まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン管理拠点の設置、市の保管ワクチン等の移動完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月8日、9日移送用の物品(シリンジ等)の事前準備 	
5月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン管理拠点から、(12才以上用ワクチン) 移送開始 ・移送日当日、ワクチンの小分けを行う。 		
5月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン管理拠点から、(12才未満用ワクチン) 移送開始 ・移送日当日、ワクチンの小分けを行う。 		

2022年11月	1日	7日	8日	14日	15日	21日	22日	28日	29日	月計
B A 4/5 ファイザー		156				168				324
B A 1 ファイザー										0
従来型ファイザー				13				15		28
従来型モデルナ										0
小児ファイザー	14				15				19	48
乳幼児ファイザー			10				6			16

2022年12月	5日	6日	12日	13日	19日	20日	26日			月計
B A 4/5 ファイザー	133				161					294
B A 1 ファイザー										0
従来型ファイザー			17				16			33
従来型モデルナ										0
小児ファイザー				15						15
乳幼児ファイザー		16				12				28

2023年1月	4日	10日	16日	17日	23日	24日	30日	31日		月計
B A 4/5 ファイザー		145			115					260
B A 1 ファイザー										0
従来型ファイザー			11				10			21
従来型モデルナ										0
小児ファイザー		12				10				22
乳幼児ファイザー	8			11				11		30

2023年2月	6日	7日	13日	14日						月計
B A 4/5 ファイザー	72									72
B A 1 ファイザー										0
従来型ファイザー			10							10
従来型モデルナ										0
小児ファイザー		13								13
乳幼児ファイザー				11						11

ワクチン保管・管理に必要な貸与物品リスト

別添資料3

冷凍機器	横 (cm)	奥行 (cm)	高さ (cm)	個数	メーカー名	形式等	(参考) 2023年2月 時点稼働台数
超低温冷凍庫	65	62	95	12	EBAC	UD-80W74NF	12
超低温冷凍庫	55	80	95	2	PHC	MDF-C8V1-PJ	1
低温冷凍庫	62	60	86	17	EBAC	ECUD-24W70	11
冷蔵庫	48	55	120	1	Hisense	HR-B1202	1
冷凍ストッカー	80	85	187	1	ホシザキ	HF-75LA3-CS	1
冷凍ストッカー	127	68	85	3	DAIREI	D-396D	3
冷凍ストッカー	112	72	92	1	AQUA	AQF-GF27CJ	1

保冷バック・保冷剤	横 (cm)	奥行 (cm)	高さ (cm)	個数	メーカー名等	形式等
保冷バック	33	33	45	450	SUGIYAMA-GEN	保冷バッグVB (アルミ内箱, パイロホルダー-VB, 保冷剤COOL LAB含む)
保冷剤 (冷凍移送用)	15	24	2	4個× 約300バッグ分		
蓄冷剤 (超低温冷凍庫 のバックアップ用)	18	29	4	8個 ×6冷凍庫分)	EBAC	ECL-50-1000

シリンジ・注射針等	個数
シリンジ・注射針	約65万本
生理食塩水	約1万本